

産業建設常任委員会

日 時 平成 26 年 3 月 10 日 (月) 午後 1 時 00 分 ~
場 所 第 2 委員会室

1 開議

2 事務局日程説明

3 所管分付託議案審査 (付託表その 2)

上下水道部 → 産業観光部 → まちづくり推進部

報告第 1 号 損害賠償額の決定について

第 3 号議案 平成 26 年度亀岡市簡易水道事業特別会計予算

第 5 号議案 平成 26 年度亀岡市地域下水道事業特別会計予算

第 10 号議案 平成 26 年度亀岡市上水道事業会計予算

第 11 号議案 平成 26 年度亀岡市下水道事業会計予算

第 53 号議案 亀岡市営特定目的住宅条例の一部を改正する条例の制定について

第 54 号議案 亀岡市食肉センター条例の一部を改正する条例の制定について

第 56 号議案 土地改良事業 (災害復旧事業) の施行について

第 57 号議案 市道路線の認定及び廃止について

(説明 ~ 質疑)

4 討論

5 採決

6 意見書案について

7 その他

(1) 議会だよりの掲載内容について

(2) 議会報告会意見対応 (2 月 17 ・ 18 日開催分) について

(3) 行政視察について

(4) 4 月の月例開催について

審 査 日 程

3月10日（月）

●補正予算 委員長報告の確認

10:00～

●議会運営委員会（幹事会） ～ 会派会議 ～ 本会議

●当初予算・条例関係分（説明・質疑）

13:00～	第10号議案	平成26年度亀岡市上水道事業会計予算	上下水道部
	第11号議案	平成26年度亀岡市下水道事業会計予算	上下水道部
	第3号議案	平成26年度亀岡市簡易水道事業特別会計予算	上下水道部
	第5号議案	平成26年度亀岡市地域下水道事業特別会計予算	上下水道部

<休 憩>

15:00～	第54号議案	亀岡市食肉センター条例の一部改正	産業観光部
	第56号議案	土地改良事業（災害復旧事業）の施行について	産業観光部
15:30～	報告第1号	損害賠償額の決定について（179条関係）	まちづくり推進部
	第53号議案	亀岡市営特定目的住宅条例の一部改正	まちづくり推進部
	第57号議案	市道路線の認定及び廃止について	まちづくり推進部

●討 論～採 決

16:00～ （採決順：報告第1号、第3、5、10、11、53、54、56、57号議案）

●意見書案について

	雇用の安定を求める意見書（案）
--	-----------------

●その他

	議会だよりの委員会掲載内容について
	議会報告会での意見・要望等について
	常任委員会行政視察について
	4月の月例開催について

3月20日（木）

●特別会計当初予算、条例等分 委員長報告の確認

●その他

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

産業建設常任委員会

		意見・要望などの概要	当日回答内容	対応		
				参考	報告	回答
古世	5	矢田～篠インター間の中矢田篠線の供用開始の見通しがわからない。	上矢田地内約200m間の工事は進んだ。今秋以降、概ね26年度中に開通できる見通しである。			
古世	6	スタジアム建設に係り水源影響調査の結果の公開が十分されているとは言えない。	調査結果の報告書とその概要版が情報コーナーに設置されている。工事をすると言影響が出る結果が出ている。概要版で見てほしい。			
東本梅	7	台風18号による農地被害一箇所40万円以上の補助制度の詳細を教えてください。40万円以下の補助について議会だよりでは、議会で取り組んでいると書いてあるが、制度が出来る見込みなら、どのように、いつ頃できるのか。	現制度は、農地被害が一箇所40万円を超えた部分を補助する国の制度である。ただ、それ以下の小規模の被害が非常に多いので何とかしたいと常任委員会で話し合っている。市は、財政と災害査定の方力と公平性の問題から、制度設計が難しく、現在、研究している段階。いつ、そのようなものができるか、とは言えないが、夏ごろまでには何らかのものが出てくると認識している。			
南つつじ	2	工事費40万円未満の災害復旧箇所は国の補助対象外で全額自己負担、との事だが議会としての押しが足らなかったのではないのか。南丹市や京丹波町では制度があると聞くが。	市は、やる方向で検討すると議会に言っているが、財源と人的体制に課題があるのも事実。			
曾我部	7	スタジアム建設予定地近くに、水道の主水源がある。悪影響はでないのか。	しっかり調査し、千代川の水源地とのドッキングも考えているようである。はっきりしたら情報公開されるだろうと思う。			
曾我部	10	アユモドキより、市民の安心・安全なまちづくりが大切。亀岡から淀川へ排水を作り、直接水を流してはどうか。	検討して行く。			
曾我部	11	曾我部町のほ場整備とからめて、国道423号法貴バイパスの実現、曾我部小学校の通学路の整備等まちづくりをお願いしたい。	今、ほ場整備事業が採択されるかどうかのところである。我々もしっかり応援して行きたい。地元も声を合わせてほしい。			
曾我部	14	国道423号がバイパス化されると、旧国道423号の管理はどうなるのか。	旧国道423号は、市道認定となるのか、道路の管理者がどこになるのか、側溝の管理も含めて確認していく。			
旭	3	自然災害で、40万円以下の補助対象外の農地や農地等について、亀岡市独自の補助金制度はないのか。	今使える制度は農地・水保全管理支払交付金や京都府の地域力再生プロジェクト支援事業交付金があると聞いている。亀岡市独自の制度はないのが現状であるが、現在、市でも支援策を検討しているところである。			
旭	4	市は農地・水保全管理支払交付金を使ってよいといっているのか。	市は具体的に使ってもらったら良いと答弁したが現実的には難しい。			

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について
産業建設常任委員会

	意見・要望などの概要	当日回答内容	対応		
			参考	報告	調査
旭 6	農地組合法人旭が直売所なごみの里旭を現在建設中であり、土地は亀岡市から取得した。造成工事、水道工事、下水工事等のインフラ整備は地元が負担する事となっているが、多額の費用(1400万円)がかかり、また造成費は資産でないために税法上償却ができない。さらに公共施設なので工事費も多額になっている。農地保全、農業振興で頑張っているのに今後市から補助をしていただけるようお願いしたい。 また、直売所施設にあたって、京都府のハードルが高い。例えば障害者用のトイレ建設など当初説明がなかったのに、急に必要であると言われ、自費でクリアしなければならないことが多々ある。農業振興の助成金はいただいているが、思わぬ負担金がかかり苦慮している。	産業建設常任委員会で直売所建設の報告は受けていたが、細部にわたる報告は受けていない。議会としてよく調べて何ができるのかを考えた。			

No.	都道府県	市町村	人口	取組事例	備考
1	石川県	加賀市	71153	町屋再生事業(まちづくりファンド事業)・定住促進事業	城下町大聖寺に残る町屋を活かした「歴史的景観の保全」 「良好な居住環境の実現」「まちなかの賑わい創出」を支援
2	富山県	射水市	93835	バイオマス活用推進事業(もみ殻循環プロジェクト)	もみ殻の燃焼エネルギー運用、珪酸肥料化、世界初のもみ殻 再生可能エネルギー施設の完成をめざす。
3	富山県	南砺市	54782	自治体運営型通信販売サービス「南砺sg」による特産品等の 販売	その他の施策:田園環境プラン、農地集積
4	埼玉県	草加市	238071	市内共通ポイントカード発行事業	商店組合が行うポイントカード事業支援による全市的な商業 活性化を図る取り組み
5	神奈川県	南足利市	43530	新規就農基準、市民農業者制度	遊休農地を減らすために独自の農業参入システムを導入
6	静岡県	富士宮市	135496	フードバレー構想(食の循環)	市民と生産者・NPO・企業・大学が連携し、市を挙げて「食」の まちづくりに取り組む。
7	静岡県	袋井市	86991	農を活かしたまちづくり(農活をまちの成長戦略に)	農資源を様々な分野でまちづくりに活用
8	福岡県	糸島市	100356	農力を育む基本条例に基づく取り組み	6次産業・地産地消の取り組み、日本一の売上げを誇るファー マーズマーケットJA「伊都菜彩」
9	大分県	竹田市	25492	全国初の農村回帰宣言	農村回帰支援センターを設置、窓口を一本化し全国からの移 住促進に取り組む
10	大分県	臼杵市	43073	企業の農業参入・有機農業推進	ほんまもん有機の里「臼杵市土づくりセンター」H22.8～稼働
11	宮崎県	綾町	7261	照葉樹林の資源を活かした自然との共生に基づいたまちづく り(ユネスコエコパークに登録)	その他、有機農業の推進
12	鹿児島県	霧島市	66489	企業立地プロジェクト	県内一の立地企業数